

土曜

# ASHUREY CLASS

原文で味わう詩篇23篇

תהלים

No.3 2025. 11. 29

# 1. テキスト

24

「いまだ」なされていない栄光の王、  
すなわち再臨のキリストの到来

23

復活によってもたらされた「いのちを与える霊」、  
すなわち「霊の中に生きること」の喜びが綴られています。

22

イエシュアイェシュアの受難  
と死と復活

# 1. 全体のテキスト

## 【新改訳2017】 詩篇23篇      ダビデの賛歌

- 1 主は私の羊飼いです。私は乏しいことはありません。
- 2 主は私を緑の牧場に伏させ    いこいのみぎわに伴われます。
- 3 主は私のたましいを生き返らせ  
御名のゆえに    私を義の道に導かれます。
- 4 たとえ    死の陰の谷を歩むとしても    私はわざわざを恐れませんが  
あなたが    ともにおられますから。  
あなたのむちとあなたの杖    それが私の慰めです。
- 5 私の敵をよそに    あなたは私の前に食卓を整え  
頭に香油を注いでくださいます。私の杯は    あふれています。
- 6 まことに    私のいのちの日の限り  
いつくしみと恵みが    私を追って来るでしょう。  
私はいつまでも    主の家に住みます。

## 2. 「人称」①

【新改訳2017】 詩篇23篇      ダビデの賛歌

- 1 主は私の羊飼いです。私は乏しいことはありません。
- 2 主は私を緑の牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われます。
- 3 主は私のたましいを生き返らせ、  
御名のゆえに、私を義の道に導かれます。
- 4 たとえ、死の陰の谷を歩むとしても、私はわざわざいを恐れません。  
あなたが、ともにおられますから。  
あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。
- 5 私の敵をよそに、あなたは私の前に食卓を整え、  
頭に香油を注いでくださいます。私の杯は、あふれています。
- 6 まことに、私のいのちの日の限り、  
いつくしみと恵みが、私を追って来るでしょう。  
私はいつまでも、主の家に住みます。

## 2. 「人称」②

●詩篇23篇は「主」と「私」という人称しかありません。4～5節では「主」が「あなた」に置き換えられています。この詩篇は「主と私のかかわり」を語っている詩篇です。

●ところで、ここにある「私」とは誰のことを指しているのでしょうか。表題にはダビデによるとありますから、ダビデだと思ってしまう。ところが、「詩篇」を学ぶ上で大切な視点として「詩篇の多くはダビデによるものですが、イエシュアはダビデよりも前におられる先取的存在です。つまり、ダビデはイエシュアを証しするために存在させられているのです」という前提で見ると、この視点は「御父と御子のかかわり」を歌った詩篇と見ることができます。そのかかわりの中に、私たちは招かれているのです。

### 3. 今回のテキスト ①

- 今回取り上げるのは2節のみです。前半と後半は同義的パレリズムです。つまり、ここでは共通のテーマが扱われているということです

主は私を緑の牧場に伏させ

ヤルビーツエーニー      デシエ      ビネオート  
בְּנֵאֹת דְשֵׁא יַרְבִּיצֵנִי

主は私を伏させる

草の

牧場に

いこいのみぎわに伴われます。

イエナハレーニー      メヌホート      アルメー  
עַל־מֵי מְנַחֹת יְנַהֲלֵנִי

主は私を伴われる

いこいの

水のほとりに

### 3. 今回のテキスト ②

## 主は私を緑の牧場に伏させ

ヤルビーツエーニー      デシエ      ビネオート  
יְרַבִּיצַנִי      אֶשְׂבֵּץ      בְּנֵאֹת

主は私を伏させる

草の

牧場に

- 「緑の牧場」(ネオート・デシユ：אֶשְׂבֵּץ בְּנֵאֹת)とは「草が生えた牧場」のことで、羊にとってなくてはならないものです。これは「永遠のいのちに至る食べ物」(ヨハネ6:12)の型であり、「人の子が与える食べ物」です。イエシュアが語ったことばは「霊であり、いのち」(ヨハネ6:63)です。それは霊の食べ物で「神のご計画、みこころ、みむね、目的」を啓示することばです。それはイエシュアが伝えた「御国の福音」と言えます。

### 3. 今回のテキスト ③

- 老シメオンは幼子イエシュアを腕に抱いた時、彼は何と言ったでしょうか。「主よ。今こそあなたは、おことばどおり、しもべを安らかに去らせてくださいます。私があなたの御救いを見たからです。あなたが万人の前に備えられた救いを」(ルカ2:29~31)とあります。「安らかに」は「ベシャーローム」(בְּשָׁלוֹם)、**「去る」**は「眠る」すなわち**「死ぬ」**ことです。なぜ安らかに死ねるのででしょうか。それは、神のご計画とみこころ、みむねと目的を知らされたからです。
- 「伏させる」と訳された「ラーバツ」(לָבַטַח)は「横たわる」という意味です。これは後半の「伴われます」と同義の「休ませる」の「ナーハル」(נָחַל)の強意形(ピエル態)です。

### 3. 今回のテキスト ④

いこいのみぎわに伴われます。

イエナハレーニー      メヌホート      アルメー  
:יְהִי מְנוּחָתַי מִיְּמֵי מַיִם

主は私を伴われる

いこいの

水のほとりに

- 「アル」(לֵא)は「ほとり」、「メー」(מַיִם)は「水」(マイム: מַיִם)の連語形。したがって「アル・メー」(לֵא מַיִם)で「水のほとり」を意味します。「メヌホート」(מְנוּחָתַי)は「安息」を意味する「メヌーハー」(מְנוּחָה)の複数形。なぜ複数形となっているかといえは、「水」が双数形だからです。2節後半は「**主は私をいこいの水のほとりに導き、休ませる**」の意味になります。ですから、2節は「安息」の概念(イメージ)です。

## 4. 「主にある安息」①

【新改訳2017】 マタイの福音書11章28～30節

- 28 すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを**休ませて**(メヌーハー： מְנוּחָה)あげます。
- 29 わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに**安らぎ**(マルゴーア： מַרְגּוּא)を得ます。
- 30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。

● 「休ませて」(メヌーハー)と「安らぎ」(マルゴーア)はどのように違うのでしょうか。前者は「エデンの園にある回復された永遠の安息」、後者は「イエシュアのくびきを負い、あるいはイエシュアのうちにとどまることを自ずから求めることによって得られる安息」です。

## 4. 「主にある安息」 ②

【新改訳2017】 エレミヤ書 6章16節

主はこう言われる。「道の分かれ目に立って見渡せ。いにしえからの通り道、幸いの道はどれであるかを尋ね、それに歩いて、たましいに**安らぎ**(אַנְוָנוּ)を見出せ。彼らは『私たちは歩まない』と言った。

- 預言者エレミヤはユダの人々に「いにしえからの通り道」、これはモーセを通して神から示された道で「**永遠**(オーラーム：עוֹלָם)の道」とも訳せます。つまり、昔も今も、将来も、永遠に代わることのない道、それは「**幸いな道**」と同義です。「その道を尋ねて、それに歩いて、たましいに安らぎを見出せ」とエレミヤは言いましたが、彼らは『私たちは歩まない』と言ったのです。その結果、ユダの人々はバビロンの捕囚の身となってしまったという経緯があります。

## 4. 「主にある安息」 ③

● そうした背景をもって、イエシュアは「幼子たち」に対して「わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そのようにして、**たましいに安らぎを見出せ**」と言ったのです。この安息は、神による主権的な選びを通して、またイエシュアのことばに主体的、自発的に従うことで得られるのです。

● 「あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい」とイエシュアは語っていますが、「あなたがたも」が重要なところでは、「あなたがたは」ではなく、「あなたがたも」です。つまり御子イエシュアも御父のくびきを負って歩んでいるという前提があるのです。イエシュアと御父が「くびきを負って」歩んだ姿があって「**わたしから学びなさい**」と招いておられるのです。「学び」の内容は「くびきを負うこと」に尽きます。それは「霊で生きること」でもあるのです。霊において生きるなら、それがたましいの喜びにつながるのです。

## 今回のまとめ

● マタイ11章29節の「わたしのくびきを負う」ということばをヨハネのことばで表現するなら、「キリストのうちにとどまる」(ヨハネ15:4)となります。ですからイエシュアは「わたしのもとに来なさい」、そして「わたしのうちにとどまりなさい」と言っているのです。

● ここが欠落しているクリスチャンが多いのではないかと思います。イエシュアと「くびきを負うこと」によって、あるいは「イエシュアにとどまること」によって約束されているのは「安息(安らぎ)」です。これが、今回の「主は私を緑の牧場に伏させ いこいのみぎわに伴われます」が意味することなのです。イエシュアの「くびきを負う心地よさを、楽しさを、麗しさを」日々、経験していきたいと思います。